

鹿折まちづくり協議会に参加しましょう!

鹿折まちづくり協議会(まち協)は、住民の皆さんと一緒に「安全・快適で活力があり、楽しく住みよい鹿折」を実現するために活動しています。鹿折地区に関わりのある方ならどなたでも参加できます。

こんな活動を行っています:

- まちづくりサロン(*)の開催や、行政や関係機関との連携を通じて、住民の意見を取り入れたまちづくりを目指しています。
- 鹿折地区の復興事業に関する情報を収集します。★マルシェ事務所で個別事業ごとに資料を閲覧できます。
- その他、鹿折のまちづくりに関することであれば、何でも相談に乗り、必要に応じて行政に問い合わせます。

***まちづくりサロン:みんなが集まり、復興事業や将来のまちづくりに関することを語り合う場。月に一回開催**

事務所の業務時間:

事務局員が下記の時間帯にマルシェに駐在していますので、お気軽にお立ち寄りください:

★毎週 月・水・金、9:00~12:00 マルシェB棟2階

- ・住所: 気仙沼市中みなと町 107-1 復幸マルシェB棟2階
- ・路線バス大沢線「水道事業所」バス亭 すぐ。駐車場あり

事務局を手伝ってくれる人募集!

7月:まちづくりサロンを開催

7月20日(日)、まちづくりサロンを開催し、関係者を含め18名が参加しました。主な意見交換は以下の通りでした。

- 鹿折に興味を示している事業者は結構いる。特に大手企業は集客についてシビアに考えるため、進出や事業再開を考えているのは鹿折に見込みがあるということでは。
- 西中才、東中才は人口が増えている。浦島地区や唐桑からも集客を見込める。他地区との交流は重要。
- 中央の空き地に鎮魂の鐘を設置するのはどうか。
- 市街地の真ん中に大きな広場があった方が良い。
- 避難所には、鹿折小学校を利用してもいいのではないかと。

また、安波山に続く道路の拡張が必要。今回出たような色々なアイデアを今後はできるだけ具体化していくことが話し合われました。



和気藹々とした意見交換



復興事業の進捗とまちづくり計画について、みんな熱心に聞いています

6月:まちづくりを語る会を開催

6月15日(日)、鹿折小学校で「鹿折地区のまちづくりを語る会」を開催しました。地域住民、まち協役員や市議会議員、アドバイザー、市都市計画課やUR都市機構、清水JVの皆さんが参加し、約60名での開催となりました。

まず、清水JVから現在の復興事業の進捗状況について説明があり(内容は3ページ目ご参照)、次にランドデザイン案に関する説明をURからして頂きました。主な住民意見は以下の通りです。

- 三陸道や大島架橋の実現で流通が一変する。賑わいの創出につなげる戦略を考えなければ。
- 行政の地区構想では、魚町や南町と鹿折が一体的に捉えられているが、鹿折の地域としての固有性を十分に考慮すべき。

次に、全体での意見交換会があり、鹿折で事業再開予定の参加者らから、下記のような意見が出ました。

- 事業再開には、換地先の状況や道路の計画・高さなどの情報が重要。それらがある程度分かったので、今日はこの会に参加して良かった。
- 災害公営住宅と道路計画がある程度固まったので、(事業再開の)イメージがわいてきた。
- 政府の補助金の申請期限に間に合わないかもしれないのが不安。
- 被災から3年がたち、状況も変わってきた。被災していない地域の住民も、まち協に関わるようになっていけばいいと思う。

また、今後はまち協・市・UR間の三者でよりこまめな打ち合わせを行っていくことも話されました。

サロンではポストイットを使い、すべての方の意見が平等に扱われるように工夫しています

鹿折の商業部会を活性化！



まち協の商業部会には、浜商栄会や復幸マルシェの店主さんたちが参加、月一回程度集まり、今後の鹿折での商業について話し合っています。テーマは、全体的な復興事業の他に、共同店舗のことや、地域のお祭りのことなど。今後は、鹿折の商業全体のことを協議する場として、鹿折で事業を考えている人たちをもっと巻き込んでいく予定です。

また、鹿折加工協同組合とも情報交換を随時行っていますが、今後さらに連携を深め、鹿折地区を盛り上げ集客力を高めるための構想を話し合っていく予定です。



復興鹿折
復幸マルシェ

～ 東松島での視察研修会 ～

7月6日(日)、まち協の役員・顧問ら計17名で、東松島市の野蒜地区を訪問しました。東松島は住民参加のまちづくりにおいて先進的な取り組みを行っています。今回は、同市の野蒜まちづくり協議会及び野蒜北部丘陵振興協議会と交流し、その活動内容や住民参加のノウハウを学ぶことで、鹿折まち協の活動促進、組織強化に役立てることが狙いでした。

当日はまず、UR 東松島復興支援事務所所長より野蒜地区の復興事業の説明を受けました。その後、宮戸地区の造成完了地区、ソーラーパネルの設置場所や、人でにぎわっている海水浴場などをバスで見学しました。

午後からは、野蒜まちづくり協議会、野蒜北部丘陵振興協会との交流会を行いました。以下が主な内容です。

- ◆ 東松島市のまちづくり協議会は、市の協働まちづくり政策の中に位置づけられている。これまで市で担ってきたことを役割分担して、住民にも協力してもらおうという発想がもとにある。
- ◆ 野蒜まちづくり協議会は平成20年に設立されて以来、状況に合わせ幾編もの組織編成をたどってきた。
- ◆ 専門部会に分かれて活動。野蒜まちづくり協議会は①医療福祉部会、②教育施設部会、③産業振興部会、④復興部会の4部会に、野蒜北部丘陵振興協議会は、①高台移転部会、②災害公営住宅部会の2部会に分かれて、それぞれ個別のテーマごとに話し合いを重ねている。
- ◆ フォーマルな場にするというよりは、勉強会や懇談会を開き、気軽に参加できるような場を作った。
- ◆ 市が事務局を務めていることもあり、行政との連携がこまめにとられている。住民意見が実際に市の施策に反映され、ソーラーパネル設置やコンビニ誘致などが実現している。
- ◆ 話し合った議題やテーマに関しての進捗状況や途中経過を皆に知らせることが大事。研修後、学んだことを鹿折でどう生かしていくかについて鹿折まち協側で話し合いました。



上：住宅建設が始まっている造成完了地区
下：野蒜まちづくり協議会の皆さんと交流会



- ・ 「行政とよりこまめに話し合っていこう」
- ・ 「まち協の強化、特に事務局の強化を今後具体的に考えていくべき」
- ・ 「専門部会に分かれた活動の仕方は鹿折まち協でも取り入れるべき」
- ・ 「特に若年層や女性の方々の募集をかけ、まちづくりに参加してもらおう」「イベントやコンサートを」
- ・ 「地域の課題は地域の住民で解決しようとする仕組みを気仙沼でも取り入れるべき」
- ・ 「震災地区だけでなく、被災していない地区の参加も取り入れて鹿折全体のまちづくりを考える時期だ」
- ・ 「災害公営住宅の入居予定者を一同に集め、まち協として話し合う場を作ることが必要では」

などという意見が出ました。今後、今回得た学びを生かし、まち協の組織強化と住民参加促進、行政との連携強化に向け取り組んでいきたいと思えます。

鹿折地区の復興事業：サロン等で出た質問に対する行政やURの回答や、行政との打ち合わせ等で確認している進捗状況

【防災集団移転／鹿折北地区】：新浜一区と錦町の協議会の皆さんが移転する予定。整備戸数は44戸、完成時期は平成27年3月（市）

【かさ上げ工事の安全対策】交通誘導員を配置している。鹿折小学校に近い通学路には特に注意して誘導を実施。また、トラックのタイヤの洗浄や、車道・歩道の清掃も行い、工事区域外に土砂などを出さないように注意している（UR）

【新しい県道】今年6月から工事を初めて、平成27年の春には完成する予定（UR）

【地盤強化】ドレーン材（やしの実の繊維で作られたロープのような素材）を地中に挿し込み地下水を排水し、地盤の圧密沈下を促進させる。現在は、想定される沈下量（約60cm）に加え、将来の建物の重さ分の土を重りとして盛っているため、計画高さより、高くなっている（UR）。

【かさ上げ高表示】かさ上げ高が分からないという住民の声を受け、地区内2か所にかさ上げ高を表示した看板を設置（UR）

【災害公営住宅】今年9月に宅地整備が完了予定。今後、住宅建設に着手し、平成28年3月に竣工予定。8棟（4～5階建）、284戸を整備。敷地内に福祉センターを併設するとともに、防災備蓄倉庫は3箇所を設置される予定。入居者が買い物に困らないよう、周辺の土地の立地促進に向けて検討（市）。

【仮設商店街】復幸マルシェは、8月一杯で県道沿いの新しい仮設商店街にお引っ越し。「鹿折復幸マーケット」と名を新たに再出発。

【見学台と献花台】仮設商店街北側約100mの場所に高さ7mほどの見学台を建設、8月11日には完成予定。復興事業が一望できる（市）。献花台も設置される。

【鹿折川河川堤防】鹿折川沿いの1,650mの延長範囲で、高さ5mの河川堤防が設置される予定。平成29年3月竣工を予定（県土木事務所）。

【排水工事】新浜町付近に、高台から水が集まるような箇所があり、不安があるとの住民の声。⇒工事中は仮設の排水管を敷き、水が溜まることのないよう配慮して工事を行う。区画整理事業において雨水排水施設を設置する予定（UR）

【水産加工施設等集積地】かさ上げはほぼ完了。下水道復旧工事が平成27年3月までに完了予定。立地事業者22社のうち、1社が既に建設を開始している（市）。

住宅地
商業地
工業地
公益施設
公園・緑地

お盆期間のため、8月はまちづくりサロンをお休みします

8月のお知らせ：

8月は復幸マルシェの引っ越し前のイベント「**鹿折復幸マルシェ閉場イベント～さよなら大感謝祭**」が2日間にわたって行われます。場所は復幸マルシェ付近。

➤ 8月11日：13:30～20:00 縁日コーナー、大トランポリン遊具、ステージライブショー、鎮魂復興花火大会「Light Up Nippon」、ともしびプロジェクト「鎮魂キャンドルナイトセレモニー」

****まち協も展示を行います！ぜひお立ち寄りください！(^^)!**

➤ 8月15日：11:00～20:00 全国北誠会「アートトラック展示撮影会」、ステージライブショー、テコトラ点灯展示撮影会「ナイトシーン」

***まち協事務所も、8月中に新仮説商店街「鹿折復幸マート」に引っ越します！**

ここは皆で作るコーナーです。皆さんふるってご投稿下さい！

まち協の鈴木会長からメッセージ！

「浄念寺のお坊様の法事で聞いた「半日村」のお話を紹介します。中国に、山に囲まれ一日のうち半日しか日が射さない半日村という村があったそうです。そこで、山を削る工事を一人の村人が始めました。周りの人は馬鹿にしていますが、何年か経つと、村に一日中日が照らすようになったそうです。ゆっくりでも一歩ずつ進めば必ず道は切り開くという教えです。」

投稿コーナー(詩、川柳)

- * どうにもならない事は考えるな
どうにかなるのなら たくさん悩んで
答を出せばいいと思う 伊藤佐智子
- * 海と船と魚で 栄えし街を 取り戻す 鈴木博
- * 人様も うなぎの次は 絶滅危惧種 小野寺忠行
- * いにしへの 復興予算は どの位? 洋平
- * まちづくり 「運・鈍・根」で 一歩ずつ 丹澤千草

当まちづくり通信は、気仙沼市のホームページでもご覧いただけます(過去の発行分も掲載されています)

<http://www.city.Kesennuma.lg.jp>

トップページ ⇒ 「新着情報」から

* Facebook で近況をアップデートしています。

「**鹿折まちづくり協議会**」で検索し「いいね」をクリックしてください。



*メールでのお便りは、shishiori14@gmail.com まで。

クロスワードパズル

(1)	■	(3)(A)	(5)	
(B)	(2) 『カギ』			■
(C)		■	(D)	(6) 『カギ』
■	(E)	(4)	■	
(F)		『カギ』		

「カギ」の3文字で、言葉を作ろう！
『 』 ⇒回答は次号

タテ

- (1) 豆腐のしぼりかす。○○○。
- (2) 学名のトリコロマ・ナウセオスムはラテン語で「臭いキノコ」という意味。○○○○。
- (3) オイスターソースの主原料。○○。
- (4) 空○○。解答○○。
- (5) パーキング○○○。サービス○○○。
- (6) 印鑑がなければ○○○でも構いません。

ヨコ

- (A) カナダの国旗に使われている植物。○○○。
- (B) 前脚を持ち上げて待ち伏せする姿が祈っているように見えるので、日本では俗に拝み虫(おがみむし)とも呼ばれる昆虫。○○○○。
- (C) 辛○○。○○腕。
- (D) 「早寝早起き○○ごはん」
- (E) 「鱈」←読み方は?○○。
- (F) ○○○○○の中で化学反応が起こる

前号の回答： 「キノコ」